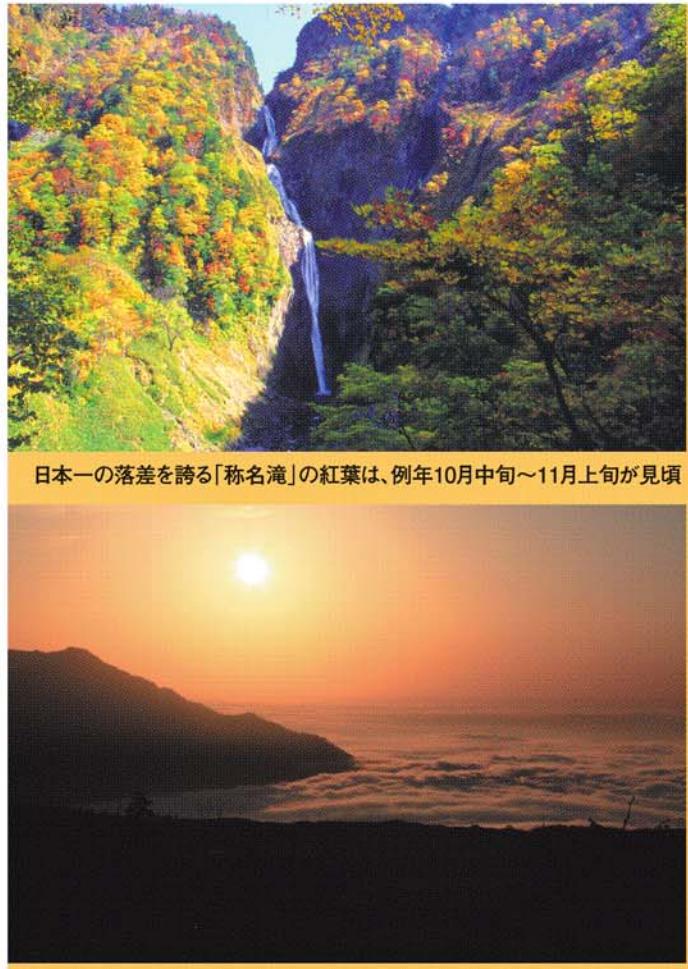


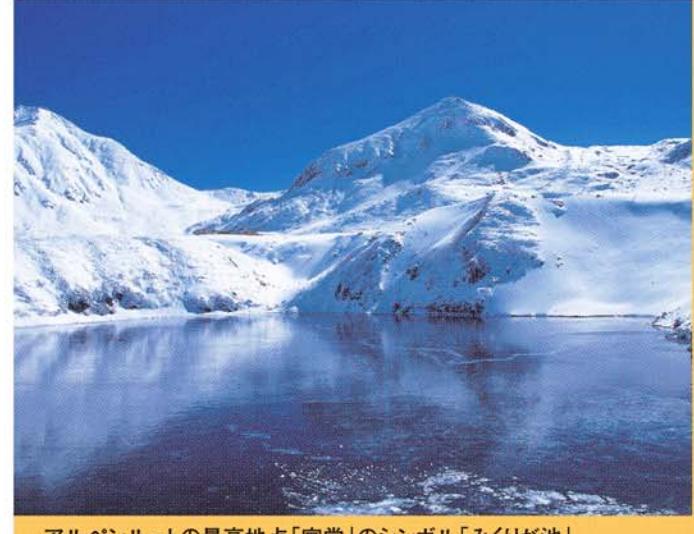
広告



標高約1600～2000メートルに広がる弥陀ヶ原高原は、雲海を一望の下に見渡せる絶好のポイント。夕日に染まる雲海は幻想的



JRグループでは「日本の美は、北陸にあり。」をキヤツチフレーズとして、観光関係者や自治体などとともに、北陸デスティネーションキャンペーン(DC)を開催しています。北陸への旅は、北陸新幹線の金沢開業により身近なものになりました。今回は富山湾の幸、世界遺産・五箇山、立山黒部アルペンルートに代表される「富山の美」を巡る3日間の旅に出掛けましょう。

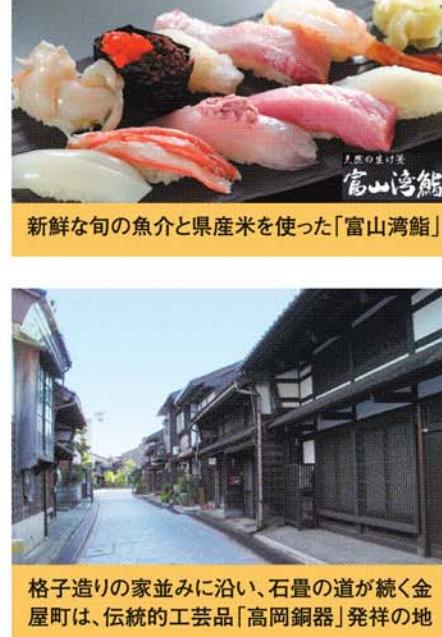


毎秒10トン以上もの勢いで噴き出す、黒部ダムの観光放水(ダムの放水は10月15日まで)



北陸新幹線を利用すると、東京から富山までは最速2時間8分です。まず「富山ぶりかにバス」(尾町和広・水見まちづく)を利用して、富山湾周辺エリアの港町を「富山ぶりかにバス」で回ります。

富山湾は2014年「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しました。このクラブはユネスコ後援のNGO(非政府組織)で、世界遺産の評価基準に準じることなどが加盟の条件に挙げられており、日本では松島湾(宮城县)に次いで2例目の登録です。



特に氷見や雨晴海岸(高岡市)から富山湾越しに見える立山連峰は美しく、「海越しに三千メートル級の山々が見える、世界でも非常に珍しい場所です」(尾町和広・水見まちづく株式会社執行役員)という自慢の絶景です。

氷見漁港外市場「ひみ番屋街」の足湯からも立山連峰が遠望できます。番屋街は33の専門店・飲食店が一堂に会した道の駅であります。併設の「氷見温泉郷総湯」は源泉かけ流しという、ぜいたくな日帰り温泉です。

魚都・氷見を象徴する「ひみ漁業交流館 魚々座」には、約70メートルの赤や黄色、緑の樹木の「五段染め」のグラデーションに圧迫感があります。

秋深まる色彩の中へ。 山と海が織り成す「富山の美」

「北陸デスティネーションキャンペーン」12月31日まで開催中

深くなり、漁場と漁港が近いところから「天然の生け簀」と呼ばれます。ここにどれた地魚を素材にした富山湾鮓は人気のアランドとして定着しています。約500魚種が生息する富山湾の新鮮な地魚と、富山県産のコメを使用。また地元の食材を使うなど、富山らしい汁物が付いてきます。

富山市は加賀前田家2代当主、前田利長の菩提寺です。利長は高岡銅器の生みの親で、発祥の地・金屋町には千本格子の家並みが残り、国的重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。

紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもあります

と、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。築約400年の「村上家」は国指定重要文化財で、国の無形文化財「こまごこ」も鑑賞できます(要予約)。「こぎりこ」は田舎から派生したもので、日本の民謡の原点でもありますと、越中五箇山筑子唄保存会事務局長・岩崎竜平さん。岩崎さんは名物「五箇山どうぶつ」をつくる喜平商店の3代目でもあります。立山町役場商工観光課課長補佐の青木正博さんは「アルペンルートに入る前に、博物館で靈山・立山の精神文化、神秘的魅力に触れていただければ」と話します。紅葉前線は立山山頂付近から五箇山に向かいます。世界文化遺産登録20周年を迎える五箇山の菅沼集落・相倉集落では、村の風景も暮らしぶりも日本の原風景が残っています。